

## 第9回 HALS グループミーティング開催のご挨拶

謹啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

2018年10月20日（土）に、「第9回 HALS グループミーティング」を東京女子医科大学大会議室において開催致します。

今回のテーマは、「HALS のスタンダード・テクニックを極める」とさせていただきます。最近の本研究会において、HALS、HATS の長所の利用や短所の克服、可能性の追求など、開腹（開胸）手術と完全腹腔鏡（胸腔鏡）手術の中における、HALS/HATS の立ち位置について、議論がすすめられてきました。どのような手術、どのような場面で HALS が有用なのかが明らかになってきたところかと思えます。そこで、今回は具体的な手技に焦点を絞って討論できればと考えております。

まず例年同様、一般演題として、全国の「HALSer」の先生方の工夫や経験をご発表いただきたいと思えます。多数のご応募をお待ちしております。

特別企画は、「HALS 標準術式の確立」としました。まずショートレクチャーとして「HALS 標準手技の紹介」を予定します。個々の先生方の工夫ではじまった HALS 手術ですが、その中から、SPORT テクニックなど、いくつかの標準的な手技が確立されてきています。臓器の把持や牽引、剥離の際の左手の使い方を中心に、まずは現在の基本手技とされる部分を再確認したいと思います。そして各領域の現在の標準的な手術をご提示いただき、さらなる標準化、安定化のためにどのような工夫が可能かを皆様でディスカッションできれば幸いです。

参加者全員の技術や経験を結集して、HALS/HATS の標準的な手術を確立していただけることを期待しております。是非とも多くの皆様方にご参加いただきますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

謹白

2018年4月吉日

第9回 HALS グループミーティング当番世話人  
木村英明／横浜市立大学附属市民総合医療センター